

卒業生、修了生の皆さん

卒業生、修了生の皆さん、卒業・修了、そして学部長・研究科長賞の受賞、おめでとうございます。本日は一部の人のみの参加となりましたが、それでもこうして皆さんの晴れがましい表情に接することができるのは喜ばしい限りです。

さて、皆さんは明日から社会に一步、脚を踏み入れます。それは就職、進学ということにとどまらず、社会にとって有用な人材であることを自ら証明する責務を負うことにはかたまりません。自らの力で自らの価値を証明しなくてはなりません。そのためには自らの価値がどこにあるのかをしっかりと自覚することが必要になります。

自らの価値を見出す、ということは容易ではありませんが、実践的なエゴノミストという経済学部教育理念は、それを考える一つのヒントになるのではないでしようか。

実践的とは、机の上で書物を通して学ぶだけにとどまらず、実社会との接触の中で身をもって行動することと考える人が多いでしよう。それは正しい解釈ですが、ここに誠実さということを付け加えたいと思います。

誰もが持っている他者に対する尊敬、思いやり、幼いものへのいたわり、他人だけでなく自分自身を偽らない正直さ。こうした人としてのごく自然

な気持ちの現れが誠実さにはかたまりませんが、それを行動・行為に結びつけることは決して簡単ではありません。困っている人を見かけたとき、気の毒だと思ふ気持ちは誰もが持っている、でも実際に手を差し伸べることをためらってしまう。つまり、誠実さは自然に備わっていることが多いのですがその実践は難しい。私は実践的とは誠実さを行動に移すその勇氣のことをいうのだと思います。

ではエコノミストとは何でしょう。エコノミクス、あるいはエコノミーという言葉が「上手にやりくりする」ことを意味するギリシヤ語を語源としています。合理的に物事を考える人、と言い換えることができますかもしれませんが。ただ、合理的とは単に損得計算を行い、その答えにやみくもに従うことだけを意味するわけではありません。私たちは多くの人々の中で相互に支え、支えられて生きていますが、それを思えば、周りの人々との関係において自己の存在を正しく座標づけることが合理性なんだと思います。自分自身を客観視することでもあり、そうであるからこそ誠実さを行動に移す実践力を意味のあるものにてきるのではないでしょうか。

ですから実践的という言葉ほどエコノミストという言葉飾るに値する言葉はなく、そしてエコノミストという言葉ほど実践的という言葉によって彩られるにふさわしい言葉はありません。

これから皆さんは、出世やシェアを巡る競争、妬みや嫉妬、ハラズメントなどさまざまな不条理に直面するでしょう。そうした世間を、誠実さだけで渡っていけるのかどうか、私にはわかりません。しかし他人がどうあれ、皆さんは常に誠実を実践し続けてください。たとえ誰かが皆さんに不誠実であつたとしても、皆さんは他者に対し無条件かつ絶対的な誠実さを示してほしいのです。このことは疫病であれ国際紛争であれ世間で何が起こっているかとは何ら関係なく、我々が我和^ワが人間として生きていく限り変わらぬ真実であると私は確信しています。

これまでに片淵キャンパスを旅立った皆さんの先輩諸氏はいずれも有用な人材として活躍しています。その伝統を受け継ぐ皆さんは豊かな人生を手にできるDNAを持っています。そのDNAを形あるものとするためにも、誠実さを行為に結びつける実践力、社会において自身の座標を正しく見極める合理性。この二つを失なわなideほしい。改めてこのことを申し上げ、皆さんへのはなむけの言葉といたします。

令和三年三月二十五日

長崎大学大学院経済学研究科長

長崎大学経済学部学部長

深浦厚之